

「金沢大学グローバルサイエンスキャンパス（GSC） 第2（展開）ステージ」

金沢大学では、科学技術振興機構（JST）の次世代人材育成事業「グローバルサイエンスキャンパス」の委託事業として、グローバルサイエンスキャンパス（GSC）プログラム「世界でかがやく科学技術イノベーション人材の育成」を実施しています。

がん進展制御研究所では、GSCプログラム第1期生の第2（展開）ステージとして、先端的な研究に取り組む高校生3名を受け入れました。受講生は、本研究所機能ゲノミクス研究分野（鈴木教授）の研究室において、4月から9月まで土曜日や夏休みを利用して研究活動を行っています。研究テーマは、「ウイルス挿入変異を用いた新しいがん関連遺伝子候補の同定」です。

受講生3名は、担当教員の指導のもと、分子生物学実験の原理や基礎的技術を学びながら、設定した研究課題に積極的に取り組むとともに、実験結果をまとめたスライドやポスターを作成し、研究成果を発表するトレーニングも行っています。

なお、本受講生は、10月7日・8日の2日間、東京で開催されるグローバルサイエンスキャンパス平成29年度全国受講生研究発表会に金沢大学の代表として参加し、第2（展開）ステージで得られた研究成果を発表する予定です。

